

3

5つの重点取組の具体的な内容

(1) 路線のループ化

- 都心のぎわいの軸である駅前通で西4丁目停留場とすすきの停留場間を結び、路線のループ化を図ります。
- 利用者の利便性と路面電車のまちづくりへの活用という観点から、新たに整備する駅前通では歩道側を走行する整備(サイドリゼーション方式)を行うとともに、狸小路付近には新しい停留場を設置します。

期待される効果

- ループ化により、既設線沿線の全ての施設へ最短でアクセスできるようになるなど、回遊性が向上します。
- サイドリゼーション方式により、新しい停留場では誰もが気軽に歩道から乗り降りできることで利便性が高まるほか、歩道上の停留場を人が賑わう交流空間としていくことで、都心のまちづくりに貢献できます。
- 駅前通は歩行者天国や地域のイベントが数多く行われており、都心の賑わいの軸である駅前通でのループ化や魅力的な新型低床車両等が、集客効果を高めるとともに、観光客を含む多くの人のまち歩きなど、都心全体のさまざまな人の活動を支えることにつながります。

スケジュール

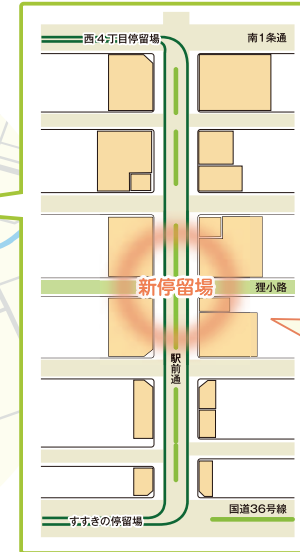
平成24・25年度に実施設計等の詳細な検討を進めるとともに、法律で定められている各種手続を行います。

さらなる取組の実施

駅前通に多くの交流を生み出し、シンボルストリートとしての魅力をさらに高めることを目指し、車から人を中心としたまちへ向けた施策の検討を進めます。

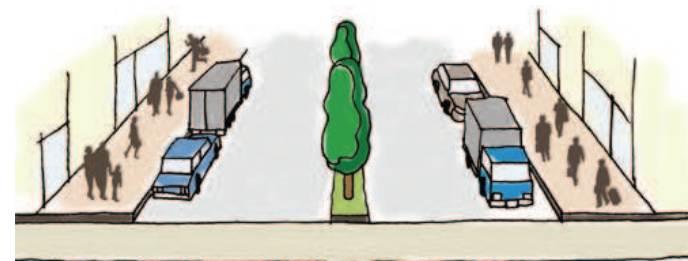


整備概要



ループ化にかかる概算事業費
 軌道工事関連 約12.5億円
 電気工事関連 約6.5億円
 合計 約19億円

現況断面



整備断面

